

令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名

加古川市立志方西小学校

1 教育目標

「豊かな心を持ち、自ら学び、ともに生きる子の育成」

2 基本方針

めざす児童像:よく考える子・素直で優しい子・元気で明るい子

めざす学校像:子どもと職員の幸福感があふれる学校(成長が実感できる「たのしい学校」・働き甲斐のある学校)

3 指導目標

魅力ある授業の創造 心の教育の充実 健康で安全な暮らしの推進 学校・家庭・地域との連携を深める

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
魅力ある授業の創造	楽しく学習している、基礎的な学習の力、自分の思いを伝える、ICT教育の推進	B	子ども自身で考え行動する場を広げ、教師は助言で支える。授業改善と学習習慣の定着を両立させる。
心の教育の充実	思いやりのある子、豊かな心の育成、交流活動の充実	A	今後も行事や会議等を精選し児童と向き合う時間を確保する。共通理解のもと、個々の伸びを尊重した支援を継続する。
健康で安全な暮らしの推進	体力の向上、健康や安全に対する意識、安全防災の意識	A	今後も集団ルールについて指導するとともに、今すべきことを判断できる力を養っていきたい。
学校・家庭・地域との連携を深める	情報発信、相談体制、地域と連携した取組、あいさつ	A	引き続き地域の教育力を活用し、教職員の共通理解のもとで児童の安心感につながるよう取り組んでいきたい。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
ICTによる新しい学びの実践を期待する。主体的な学びの育成を重点に置き、子どもたちが目標をもって自ら課題を設定できるよう、指導のさらなる工夫を重ねてほしい。	B
児童の心に寄り添う教育を評価する。居場所づくりのため関係機関と連携し、異学年交流もさらに充実させてほしい。教育講演会等による多様な人材との出会いを通じ、豊かな心を育む取組の継続を期待する。	A
子どもたちの体力低下が課題となっているが、マラソンや駆け足などの継続的な活動を通じて、心身ともにたくましく育つことを願っている。避難訓練の充実は安全管理体制として高く評価したい。	A
地域行事での交流は、子どもたちが広い視野をもつために欠かせない。今後とも、学校・家庭・地域の連携・協働による教育活動を、充実・発展させていきたい。	A